



平成26年11月14日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

【特別利益】持分変動利益の発生、及び、
平成27年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値の差異、並びに
平成27年3月期（連結）通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成27年3月期第2四半期決算を確定する過程におきまして、特別利益の発生することとなりましたのでご報告いたします。

また、平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期（平成26年4月1日～平成26年9月30日）の業績予想につきましても、予想値と実績値との間に差異が生じたので下記の通りご報告すると同時に、当該差異の発生に伴いまして、平成27年通期業績予想につきましても併せて修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益（持分変動利益）の計上

当第2四半期の連結財務諸表上において、連結孫会社の少数株主のワラントの権利行使にともない、持分変動損益47,180千円が発生することとなりました。

2. 平成27年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,750百万円	350百万円	320百万円	▲30百万円	▲0.64円
今回修正予想(B)	4,892百万円	▲32百万円	9百万円	▲19百万円	▲0.43円
増減額(B-A)	142百万円	▲382百万円	▲311百万円	11百万円	—
増減率(%)	2.99%	—	▲97.19%	36.67%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	4,313百万円	210百万円	255百万円	62百万円	1.34円

3. 差異発生理由

売上高につきましては、主にゴム事業において、国内のプラント関連需要が振るわず予算が未達となりましたが、主にカンボジア王国のファイナンス事業において、カンボジア王国全域での事業展開が進みオートバイファイナンス契約件数が大きく伸びたことに加え、当第2四半期から新たに連結することとなりましたタイ王国でファイナンス事業を行うThanaban Co., Ltd. の売上高も加わることとなりましたので、これらがゴム事業の穴を埋め、売上高は4,829百万円（当初予想数値よりも142百万円増収）となりました。

（新たな連結子会社「Thanaban Co., Ltd.」の詳細につきましては次のURLをご参照ください。
<http://www.showa-holdings.co.jp/ir/irfile/sh20140618.pdf>）

営業利益、経常利益につきましては、ファイナンス事業におけるタイ王国国内の政情不安、及び世界的な景気低迷の影響により、当社の顧客層である工場労働者や農業従事者の収入が減少するといった事象から、貸倒引当金繰入額の増額を行いました。足元では政情不安も解消され貸倒引当金繰入額は徐々に減少に転じつつあるものの、各種投資的開拓費用※がかさみ、当初の予想よりも、それぞれ382百万円、311百万円の減益となりました。

当期純利益につきましては、上記のような営業利益、経常利益が減益となる理由があったものの、主に日本国内のコンテンツ事業において、今期からカードゲーム事業部を新設・稼働をいたしましたところ、新たな顧客の獲得が順調に進み、開設初年度から利益貢献することとなりました。それらの影響もあり当初の予想よりも11百万円増益となりました。

※投資的開拓費用

当社グループではARFC Vision (AseanRegionalFinancialCompany Vision)に基づき東南アジア全域ならびに多種の金融商品へ事業領域を拡大しております。この方針に基づき当第2四半期連結累計期間において発生した投資的費用は以下のものがあります。

- ・カンボジア王国におけるオートバイリース営業拠点全国展開費用
- ・SIAM Kubotaと提携して新規農機具リース事業展開
- ・ASEAN地域における多国展開を目指す活動
- ・タイ王国においてオートバイリースを営むThanaban Co., Ltd. の買収にかかる費用
- ・中古バイク購入者へのリース供与事業を新規展開する費用
- ・オートバイ担保金融 (M o t o 4 C a s h) 事業の展開費用

また日本国内においても、新規事業を連続的に立ち上げており、先行投資的費用が集中的に発生しております。

4. 平成27年3月期通期連結業績予想の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	9,500百万円	800百万円	750百万円	▲50百万円	▲1.07円
今回修正予想(B)	10,500百万円	190百万円	240百万円	▲40百万円	▲0.86円
増減額(B-A)	1,000百万円	▲610百万円	▲510百万円	10百万円	—
増減率(%)	10.52%	▲76.25%	▲68.00%	20.00%	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	8,703百万円	413百万円	482百万円	▲43百万円	▲0.93円

5. 修正の理由

平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、上記、平成27年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値の差異理由、及び、当第2四半期連結期間から連結子会社となったThanaban Co., Ltd. について現時点で判明している財務諸表への影響額を勘案し、売上高10,500百万円（当初予想比+10.52%の増加）、営業利益190百万円（当初予想比76.25%の減少）、経常利益240百万円（当初予想比68.00%の減少）、当期純損失40百万円（当初予想比20.00%の増加）に修正させていただきます。

以上